

保護者の皆様へ

新田中学校

特別支援教育担当

「一人一人が輝くために」

4月から中学校に入学される子どもたちはもちろんですが、保護者の皆様にとっても中学校での学習や生活そして部活に頑張ってくれることを期待しつつも、「友達同士うまくやっていけるかしら」「勉強と部活の両立はできるかしら」と不安も感じられているのではないのでしょうか。

さて、新田中学校では、生徒一人一人の個性や能力、教育的ニーズを理解した上で、適切な指導やさらに高められるように必要な支援を行う「特別支援教育」に取り組んでいます。

特別支援教育の考え方は、障がいの有無や一人一人の違いを認識しながら、さまざまな人々が生き生きと活躍できる共生社会づくりをめざしています。ですから、特別支援教育は、「支援学級」の子どもだけでなく全校の子どもたちが対象になります。子どもたち一人一人に合わせて行う「**当たり前の教育**」なのです。



例えば、小学校でこんな場面ありませんか？

計算は得意なんだけど、文章問題になるとなかなか解けないよ～

想像することが苦手だったり、イメージがわからないために、式が立てられないのかもしれません。

こんな場合は…

問題の場面を絵にかいたり、具体的なもので示したり、時には場面を劇で表したりして意味を理解させることで、式を導き出すことができることもあります。



友達のとかかわり方がうまくできなくて、トラブルが多いわ～

友達は作りたいけど、自分の気持ちを表現したり、相手の気持ちを察するのが苦手なのかもしれません。

こんな場合は…

コミュニケーションの取り方を教えてあげる必要があります。家族や教師が場面に合った言葉の使い方や遊び方を具体的に教え、コミュニケーション能力を育ててあげましょう。



本校では、上記のように学習や生活のある場面で子どもさんが困っていることに関しまして、保護者の相談にのり、学校全体で子どもたちを支援していく相談体制の充実と支援の在り方の工夫に取り組んでおります。

